

## 予稿集原稿の作成方法

講演予稿集のサイズはA4です。[PDF ファイルの電子投稿](#)にて提出をお願いします。原稿は、以下の《予稿集原稿執筆にあたって》、《PDF 原稿作成にあたって》及び《予稿集原稿執筆要領・見本》を参考に作成して下さい。

### 《予稿集原稿執筆にあたって》

1. [原稿は1件の発表につき2ページです](#)。1ページ目は研究発表会での発表内容と研究のアピール、2ページ目は交流会のための自己アピールの内容となります。日本語または英語でお書き下さい。
2. A4用紙サイズを使い、170 mm × 257 mm の範囲（マージン各 20 mm）にタイプして下さい。図表を含めすべてモノクロで作成して下さい。
3. 原稿は、そのままプリントアウトしたのち製本されます。美しく読みやすい原稿となるように、文字、図、表、写真等の大きさおよび配置に十分ご配慮下さい。
4. 文字サイズは 10.5 ポイントを原則とします。小さな文字の使用は避けて下さい。
5. 題目・発表者氏名（講演者の前に○印）・所属は、原則として見本の大きさの枠内にお書き下さい。
6. 1行の文字数、行数については特に規定を設けませんが、あまり字が詰まって読みにくくなることを避けて下さい。
7. 単位系には SI 単位を使用して下さい（日本セラミックス協会 HP「JCerSJ、原稿作成の手引き」参照）。[http://www.ceramic.or.jp/ihensyuj/index\\_j.html](http://www.ceramic.or.jp/ihensyuj/index_j.html)
8. 2ページ目は、本研究発表交流会の趣旨をご理解の上、可能な範囲内で各項目に記入していただくようお願いいたします。フレームサイズは適宜変更していただいて構いませんが、全体で 1 ページに納まるようにして下さい。

## 《PDF 原稿作成にあたって》

PDF ファイルによる電子投稿は Adobe PDF (Portable Document Format) 形式ファイルのみを受け付けます。PDF 作成の際は下記の注意事項をよくお読み下さい。

### 1) PDF 原稿を作成する際の OS とアプリケーション

OS は Windows XP/Vista/7、Mac OS X または各々これ以降のバージョンを推奨致します。PDF を作成するアプリケーションは、Adobe 社の Acrobat 5.0 以降のバージョンを推奨致します。作成方法については Acrobat 付属のマニュアルをご覧ください。

### 2) 使用可能なフォント

コンピュータの機種・環境により文字化けが発生する可能性がありますので、使用可能なフォントを下記の範囲に制限させていただきます。また、PDF 形式ファイルを「High Quality」もしくは「Press Quality」を選択して作成することで文書にフォントが埋め込まれ、文字化けが起こらなくなります。メニューの「ファイル」→「文書のプロパティ」の「フォント」で、使用している下記のフォントが「埋め込みサブセット」になっていることをご確認ください。

MS 明朝, MS ゴシック, MS P 明朝, MS P ゴシック, 平成明朝, 平成角ゴシック,  
ヒラギノ明朝, ヒラギノ角ゴ, Arial, Courier, Helvetica, Symbol, Times, Times New Roman,  
Zapf Dingbats (欧文フォントは Italic, Bold も含みます)

### 3) 写真や画像などの解像度と大きさ

文書中の写真や画像の解像度は 600dpi 程度を推奨します。解像度を上げすぎますと、ファイルサイズが大きくなりすぎます。解像度を下げすぎますと仕上がりが悪くなります。最終印刷物はモノクロになります。グラフ等で区別が必要な場合は、色ではなく、マーカーや線の種類で区別することをお勧めします。

### 4) 作成した PDF ファイルの確認

いずれの方法で作成した場合も、必ず PDF 閲覧ソフトウェアで印刷を行い、意図した原稿になっていることを確認してください。ファイルのサイズは 1.5MB 以下として下さい。

※PDF ファイルによる投稿は、文字化け等のリスクをご承知いただいた上で著者の責任で行ってください。例えば、Windows Vista / 7 と Windows XP とでは使用されている文字コードが異なるため、同じ MS 明朝でも文字が化ける可能性があります。こちらでの読み込み・印刷は Windows 7 上の Adobe Reader X で行います。電子ファイルの送信時に発生する事故につきましては、責任を負いかねますので何卒ご了承下さい。

## 《予稿集原稿執筆要領・見本》

(1 ページ目)

210 mm

170 mm

第3回関東支部若手研究者発表交流会原稿執筆要領  
(交流大学) ○若手太郎・協同守

ここに【意義・特徴】として、実施されている研究の意義や特徴、特に強調すべき内容・成果、などを5～10行程度でお書き下さい。

---

1. 予稿集原稿は、発表1件につき1ページです。  
(発表者プロフィールは別ページです。)
2. 日本語または英語でお書き下さい。
3. 本要領を参照し、A4版の白紙に、【演題】、【所属・氏名】、【意義・特徴】、【本文】の順でお書き下さい。講演者には○印をつけてください。
4. 演題は強調文字（ボールド）で、【意義・特徴】は5～10行程度としてください。また、【意義・特徴】の前後を1行空けて、【本文】との間は線で区切ってください。
5. マージンは、上下、左右それぞれ20 mmです（点線は不要です）。
6. 単位はSI単位を使用して下さい。

297 mm

257 mm

(2 ページ目)

発表者プロフィール 作成用フレームと記載例および要領

氏名	若手太郎
所属	交流大学大学院工学研究科セラミック工学専攻博士後期課程
学年／職	博士後期課程 2 年
連絡先	wakate@kouryu-u.ac.jp
研究歴	2010 年 3 月 交流大学工学部セラミック工学科 卒業 卒業研究題目「非鉛系強誘電体薄膜の合成とその誘電特性」 2012 年 3 月 交流大学大学院工学研究科セラミック工学専攻 博士前期課程 修了 修士論文題目「非鉛系強誘電体薄膜の合成とその誘電特性」
主な 研究業績	<ul style="list-style-type: none"><li>・ 専門誌に掲載された（印刷中を含む）学術論文</li><li>・ 国際会議等のプロシーディング</li><li>・ 学会発表</li><li>・ 総説，解説，著書，等</li></ul>
自分の研究 能力に関する アピール ポイント	<ul style="list-style-type: none"><li>・ これまでの研究歴で身につけた研究能力と自分の強み，など。</li><li>・ その他，自己アピールなど。</li></ul>

(注意事項)

- ※ フレームサイズや書式は適宜変更していただいて構いませんが、項目は変えないでください。また、全体が 1 ページに納まるようにしてください。
- ※ 予稿とプロフィールを合わせて 2 ページ分を、1 つの PDF ファイルにしてお送りください。
- ※ ファイル名は講演番号としてください。

**PDF 電子投稿締切日 11 月 9 日 (月) 必着**

提出先：埼玉大学工学部応用化学科 柳瀬郁夫 yanase@apc.saitama-u.ac.jp

問合せ先：埼玉大学工学部応用化学科 柳瀬郁夫 yanase@apc.saitama-u.ac.jp

(件名は「**若手発表会 2015 予稿集**」をお願いいたします。)